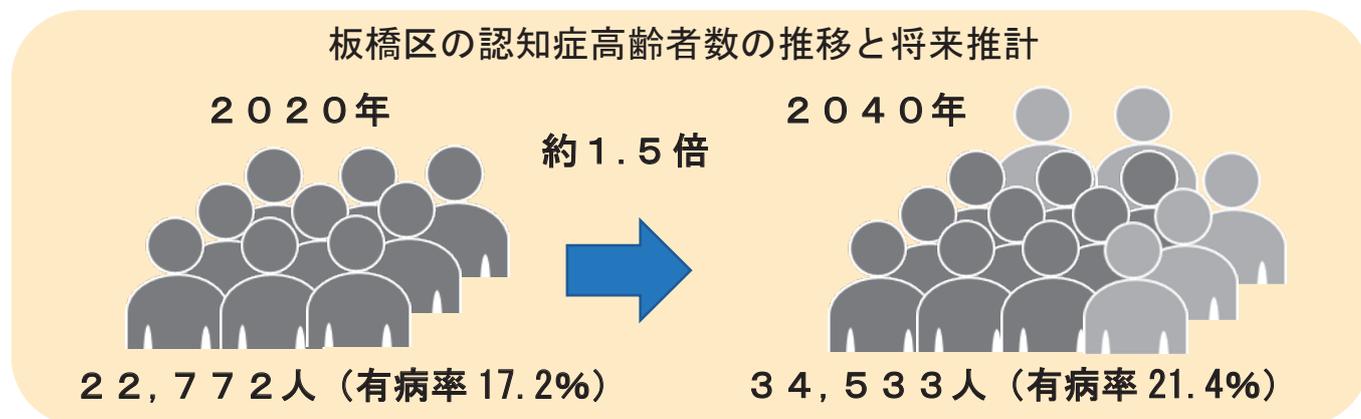


## ●認知症は誰でもかかる可能性のある身近な病気です

認知機能は加齢と共に低下しやすくなり、認知症と診断される人も増加します。板橋区における認知症高齢者数は、高齢者の増加と共に2025年には25,110人を超え、2040年には34,533人（約5人に1人）と推計されています。

（「板橋区高齢者保健福祉・介護保険事業計画2023」より）



## ●認知症の症状は原因となる病気によっても異なり、人によって感じ方も異なります

多くの方は、早い時期からなんとなく自覚症状があり、なんとか適応しようと、不安や混乱から感情的になったり、気分が沈むこともあります。ときにうつ病を発病することもあります。



### 記憶障害



記憶があやふやになる  
「そんな約束したかな？」  
「探しものが増えてきた」

### 見当識障害

自分の状況がわからなくなる  
「今日は何日？ここはどこ？」  
「横にいるこの人は、どなた？」



### 実行機能障害

計画・実行するのが難しくなる  
「料理が上手にできなくなった」  
「書類の整理が苦手になった」

### 失語・失行・失認

「うまく言葉で表せない」  
「いつも使っている道具の  
使い方がわからない」  
「近所で道に迷う」